

じんげん アジール asile

秋冬号
2017
大谷大学広報誌

子どもたちの目線に立ち、感じる心



子どもたちの目線に立ち、感じる心

～おおたにキッズキャンパスの活動～

将来、小学校や幼稚園、保育園の教員をめざす学生が中心となり、近隣の子どもたちを大学に招いてさまざまな地域連携イベントを催す「おおたにキッズキャンパス」。「理科」の実験遊び・「音楽」の歌劇・「社会」のカルタ作成など、楽しいプログラムも豊富です。2019年度からは、これまでの活動をふまえて「おおたにキッズキャンパス演習」という授業も誕生します。今回は図画工作を軸に取り組んでいる井川先生と学生3人が共に語り合いました。

キッズキャンパスの活動内容

井川 キッズキャンパスは、3・4年生のゼミ単位で参加したり、または募集をかけて1年生、2年生からでも参加できるような体制になっていますが、みなさんはいつから参加しましたか？

小笠原 僕は2年生から参加しました。イオンモール京都五条の出張キッズキャンパスで、たくさんの子どもたちと関わる機会があり、とても勉強になりました。

中谷 私は井川ゼミに入ってからなので3年生の時ですね。

井川 そのときの活動内容は？

中谷 画用紙の両端に穴をあけて糸を通し、引っ張ると回る「ぶんぶんごま」を作りました。画用紙以外にも電動糸鋸でカットした木に絵を描き、完成した作品で遊びました。

井川 そうでしたね。私のゼミでは図画工作を軸に子どもたちが、身近な材料で簡単に作成できる動く玩具などをテーマに、キッズキャンパスに関わらせていただいています。

そういうえば、夏休みのキッズキャンパスに向けて学生を相手にした模擬授業を岩田くんをお願いしたね。

岩田 はい。僕たちの選んだ材料のなかから参加者がどう工夫するのかということに授業目標にして、実施しました。

井川 その模擬授業がキッズキャンパスでどのように活かされていくのかという過程も、こちらとしては楽

しみなんですよ。

岩田 模擬授業のおかげでいろいろと考えることができました。当日の対象者は小学生や未就学の子どもたちです。これまでのキッズキャンパスを振り返ると、子どもたちは決められた少ない材料でも作りたいものを自分なりに工夫して作っていたので、使用する材料の種類を増やし、子どもたちの使いたいものを自由に使えるよう改善できました。

井川 そうです。将来教員を目指している君たちにとっては、子どもたちの目線を理解し、どう関わっていくのが大事になると思います。

活動をとおした自身の変化

井川 この活動に参加する前の気持ちを教えてください。

中谷 先生のゼミに入る前から幼稚園の先生になりたい気持ちはあったのですが、子どもと関わるボランティアなどに参加することがなかなかできずにいました。

井川 その状態からなぜ参加できるようになったのですか？

中谷 井川ゼミに入ったことで、このようなイベントに参加することが実際に幼稚園の先生になったときのためにやるのではないかと前向きにとらえることができたからです。

最初は自分のことで手一杯だったのですが、回数を重ねるうちに子どもたちの「楽しい」とか、「もっと遊びたい」という声を聞くことが嬉



教育・心理学科第3学年／岩田 泰周



教育・心理学科第4学年／中谷 葵



教育・心理学科第4学年／小笠原 優



教育・心理学科 講師／井川 利尾



しくなりました。

井川 小笠原くんは自身に変化はありましたか？

小笠原 子どもの目線に立つことや、どんな声かけをしたら子どもはもつと発想を膨らませることができるとかといった点を意識して行動できるようにになりました。そのなかで子どもとの関わりも、どんどんと深くなり、学びの多い活動ができるようになったと思います。

井川 参加するきっかけや、参加の仕方などさまざまなケースがありますが、自分でやりたいことを決め、キッズキャンパスに参加した子どもたちを笑顔にすることが醍醐味ですよ。

これから目指す活動

井川 今までできてきたことも踏まえて、今後はどんなキッズキャンパスの活動をしていきたいですか。

小笠原 僕は3つの玩具のなかから、子どもたちに作りたいものを選んでもらうという取り組みを突き詰めていきたいです。

井川 それはいいですね。基本的に子どもたちにとって「選ぶ」という行為は大事なことです。それに参加する子どもたちの年齢もばらばらなので、いくつか作るものを用意しておく、そのなかから子どもたちが難易度や好みによって選ぶことができますからね。

小笠原 子どもたちは、選択に迷う

ところもあるので、ひとつ作り終わったらもうひとつ作ることができるよう、いくつかの選択肢があることが大事だと考えてます。

岩田 僕は、以前に牛乳パックの飛行機づくりを担当したのですが、子どもたちは作ることがゴールではなく、作った飛行機を飛ばしたいんです。

井川 そうそう。作って「はい、さよなら」ではないんだよね。で、確かそのあとは飛行距離の競い合いになっていましたね。

岩田 そうなんです。自然と大会が始まりました。そのなかで飛行機が飛ばない子どもと飛ぶ子どもの差が出てきた時に、あまり飛ばなかった子どもが飛ぶ子どもに作り方を教えてもらってたんです。そんな子ども同士のつながりを見たときに今後そんな状況が生まれるようなキッズキャンパスにしていきたいと思いました。

井川 もともとキッズキャンパスには「地域連携」という目的がありますので、みなさんの今後の活動は目的に沿ったものになっていくと思います。

しかし、教員になると、準備も含めて何から何まで自分でしなければなりません。それが当たり前なので、ですから指示を待つのではなく自分から行動できる学生になり、社会に出て欲しいと思います。

Be Real

寄りそう知性

2018年4月より、本学は文学部、社会学部、教育学部の3学部体制になります。先に新しい大谷大学を象徴するメッセージ、「Be Real 寄りそう知性」を発表しました。

「Real」には、仏教でいう「真実」と、目の前の「現実」という2つの「実」の意味が込められています。「Be」は「足場をおく」、「成る」という意味です。

つまり「Be Real」とは、真実を立脚点として、世の中の現実を生きていこうという態度をあらわす言葉であり、世の中の現実に向きあいながら真理を探究していこうという姿勢をあらわす言葉です。また英語として「ちゃんとしようよ!」という意味もあります。真実と現実の双方を見つめながら、私たち人間に「ちゃんとしようよ!」と投げかけるメッセージです。学生の皆さんには、真実と現実を見つめていくなかでその「ちゃんと」の中身をそれぞれがしっかりと考えてほしいと思います。

また、そのような理念に基づく本学においては、どの学部・学科で学ぼうとも、そこで得られる知性は「他者に寄りそう」ものになるはずで、仏教の智慧は、必ず人間に慈悲を生み出す力となる。それが大学としての「Be Real 寄りそう知性」です。

あわせてロゴマークも作成いたしましたので、親しみをもって受け取っていただければと思います。 大谷大学長 木越 康

■「Be Realバーガー」&「Be Realベーグル」発売中!

3学部体制を象徴する新しいメッセージ「Be Real 寄りそう知性」を学内外の皆さまに知っていただくため、さまざまなかたちで発信しています。

その一環として、慶聞館1階カフェに「Be Real」の焼印のついた商品を販売しています。

・「Be Realバーガー」(250円)

・「Be Realベーグル」(270円)

販売時間は、カフェの営業時間、10時から16時30分までです。ぜひご賞味ください。

※学外の方もご利用いただけます。



2017年8月3日(木) 記者懇談会を実施

8月3日(木)、メディア各社にお越しいただき、3学部化に向けた取り組みや研究動向を伝えるための記者懇談会を実施しました。

記者懇談会では、木越学長と社会学科の徳田准教授から、新しい研究活動として、多分野融合型プロジェクト「新しい時代(過疎化・高齢化)における寺院のあり方研究」の説明や、社会学部・教育学部がそれぞれ行う、地域と連携した取り組みを紹介しました。

またこの懇談会において、新しい大谷大学を象徴する「Be Real 寄りそう知性」というメッセージに対応し、その願いを込めた新ロゴマークの完成を発表しました。





大谷大学



3学部体制のスタートや新教室棟の整備など、大谷大学の新しい展開を表現するメッセージを作り上げるために教職員によるプロジェクトを組織しました。「Be Real 寄りそう知性」というメッセージのもと、2017年4月から新たなスタートをきりました。その思いを表す象徴としてロゴマークを作成しました。

この新しいロゴマークは、大谷大学の新しい教育・研究の展開を学生・教職員が一体となって進めていく象徴となります。8月3日（木）の記者懇談会において、木越学長が学内外に新しいロゴマークの完成を発表いたしました。

尋源レッドの円がOTANIを表すアルファベットの「O」、白い五角形と金色の四角形がUNIVERSITYの「U」を表す。

OTANI
UNIVERSITY

中心に輝く金色の四角形は、本学で学ぶ学生の心に宿る信念を表す。

信念

中心から外側へ向けて四角形・五角形・円と変化する図形は、多くの人々と関わりを持ち経験を重ねることにより、信念を持ってさまざまに形を変え、学生が「成長」していく様子を表す。

成長

四角形・五角形・円の各図形の中心をずらしながら組み合わせることで、躍動感を表す。

躍動感

■ロゴマークに込められた意味

尋源館のレンガを表した赤色（尋源レッド）の円を基調とし、中心に金色の光が輝く新しいロゴマークにはさまざまな意味が込められています。

2018年4月、文学部1学部体制から3学部体制へ！

文学部

- 真宗学科 思想探究コース／現代臨床コース／国際コース
- 仏教学科 仏教思想コース／現代仏教コース **NEW**
- 哲学科 哲学・西洋思想コース **NEW** ／心理学・人間関係学コース **NEW** ／倫理学・公共哲学コース **NEW** ／宗教学・死生学コース
- 歴史学科 日本史コース／世界史コース **NEW** ／歴史ミュージアムコース／京都探究コース **NEW**
- 文学科 日本文学コース **NEW** ／現代文芸コース **NEW**
- 国際文化学科 英語コミュニケーションコース **NEW** ／欧米文化コース／アジア文化コース **NEW**

社会学部 **NEW**

- 現代社会学科 現代社会学コース
[公共社会 人間関係 現代文化]
- コミュニティデザイン学科 地域政策学コース／社会福祉学コース

教育学部 **NEW**

- 教育学科 初等教育コース／幼児教育コース

大谷大学短期大学部幼児教育保育科の学生募集停止について

大谷大学の複数学部化にともない、このたび大谷大学短期大学部幼児教育保育科の2019年度以降の学生募集を停止することいたしました。

幼児教育保育科は、1966（昭和41）年4月に設立され多くの保育者を輩出してきました。しかしながら、保育者養成の高度化を図るため、幼児教育保育科の理念や役割を、2018年4月からスタートする教育学部教育学科幼児教育コースへと発展的に統合いたします。在学生や、2018年4月の新入生を含めたすべての学生は、これまで通り幼児教育保育科での学修をすすめ卒業することとなり、卒業に至るまで教育環境（幼稚園教諭二種免許、保育士資格取得）を継続し、進路・就職支援についても同様にサポートしてまいります。



ジャーナリスト
福島 敦子氏



大谷大学 文学部 社会学科教授
(社会学部長就任予定)
志藤 修史



大谷大学 文学部 社会学科教授
野村 明宏

2017年5月21日(日)、「社会×地域ーBe Real 地域社会のこれからを考えるー」をテーマに、社会学部新設編シンポジウムを開催いたしました。

学生も多く参加していた本シンポジウムは、宮崎学監・副学長の挨拶から始まりました。基調講演では、福島敦子氏を講師としてお招きし、「取材から見えてくる現代社会と期待する若者像」をテーマにお話しいただきました。

その後、朝日新聞出版「大学ランキング」元編集長である友澤和子氏のコーディネートのもと、福島氏と志藤修史教授、野村明宏教授の3名によるディスカッションが行われました。地域を創生する際に重要なことは何か、学生を含む若者が地域創生にどのようにかかわっていくのか、それぞれの立場で熱く語り合いました。



大谷大学3学部化シンポジウム実施報告
社会学部新設編 2017年5月21日(日)

大谷大学3学部化シンポジウム実施報告

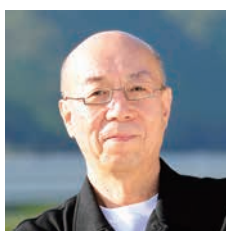
全学部編 2017年6月24日(土)

2017年6月24日(土)「Real」学ぶべきこと、意味」をテーマに、全学部編シンポジウムを開催いたしました。

本シンポジウムは、加藤研究・国際交流担当副学長の挨拶から始まり、非常に多くの方にお申込みをいただき、会場である本学講堂は、ほぼ満席となりました。木越学長は基調講演で、人文社会科学系の学問を社会的な必要性から学ぶ人物と、内からの要求に従って学びを行う人物を例に挙げ、学ぶ意味について語りました。

続く鷺田先生の基調講演では、学ぶ意味は学んだ後にしかわからない、自分には知らないことがいっぱいあると気づくために学びはあると語られました。

その後ディスカッションが行われ、哲学や仏教などの人文科学系の学びがなぜ必要なのか、熱く議論を交わしました。



京都市立芸術大学学長
大谷大学客員教授
鷺田 清一氏



大谷大学学長
木越 康



大谷大学3学部化シンポジウム実施報告

教育学部新設編 2017年7月15日(土)

2017年7月15日(土)「Real」寄り添う教育」次世代へのメッセージ」をテーマに、教育学部新設編シンポジウムを開催いたしました。

住田氏は、基調講演において、社会のなかで活躍するために必要なのは「人間力」であるとお話になりました。「私の考える人間力とは、人と同じ目線に立ち、人の痛みや喜びを共有することができる共感性と、うまくいかない時にもへこたれない忍耐力を持つこと」と語られました。

続いて行われたディスカッションでは、住田氏と関口敏美教授、富岡量秀教授が、子どもたちの心を育てる教育とは何か、活発な議論が行われました。一人ひとりの尊さに気づき、人間の弱点や煩わしさも含めて受容する寛容さを養うことが、これからの日本にも大切になると語り合いました。



弁護士
住田 裕子氏



大谷大学 文学部
教育・心理学科教授
(教育学部長就任予定)
関口 敏美



大谷大学 短期大学部
幼児教育保育科教授
富岡 量秀



Event report

2017年5月1日(月)

人文情報学科学生有志

「PENKI FATORY Media Works」が
RADIO MIX KYOTO FM87.0ジングル制作・放送へ

京都市北区・上京区を中心として、大学と地域との連携をコンセプトとしている、新しい形のコミュニティFM放送局 RADIO MIX KYOTO FM87.0の番組ジングルサウンドやロゴなどが、人文情報学科の有志学生グループ「PENKI FATORY Media Works」(倉光延行プロデューサー)で制作・リリースされました。



人文情報学科の学生とFMプロデューサー、DJの方々と共に現地スタジオでのミーティングなどを重ね、本学のスタジオで声を収録し、制作しました。

局全体のRADIO MIX KYOTO FM87.0ジングルや、各番組 KYOTO RIVERSIDE WALK / GLOBAL KYOTO / PLASH MIX KYOTO / RADIO MIX KYOTOなどの各担当DJ陣なども参加し、制作された約30トラックのオリジナルジングルが、各番組で日々流れておりますので、ぜひお聴きください。



2017年5月23日(火)

卒業生対談ページ

「OTANI TALK Advance+2017」公開

5月23日(火)、卒業生対談ページ「OTANI TALK Advance+2017」を大学のホームページにて公開いたしました。

本学では、各学科の1年生の学生と教員との対談を「OTANI TALK」として公開し、その後を追いかけるスピンオフ企画として、3年生を対象に「OTANI TALK Advance」を公開してまいります。今回新たに、卒業後を追う企画として「OTANI TALK Advance+」を制作しました。

今回は「OTANI TALK 2013」と「OTANI TALK Advance 2015」に登場いただいた、榎谷咲衣さん(仏教文化専攻第2学年)と平野寿則先生に対談いただきました。



大学院に進学した榎谷さんと、学部1年生の頃から成長を見守り続けた平野先生に、「研究者の卵と研究者」という立場で語っていただきましたので、ぜひご覧ください。

CLUB INFORMATION

2017年度 春季大会結果

卓球部

●第122回 京都卓球連盟クラス別単&混合複卓球大会
第4リーグ優勝 混合ダブルス2部
竹内敏介(哲学科 第3学年)
柴野朱音(歴史学科 第2学年)

硬式野球部

●平成29年度 京滋大学野球連盟春季リーグ戦
II部1位(一部昇格)
【最優秀選手賞】
前田拓哉(社会学科 第2学年)
【最優秀投手賞】
前田拓哉(社会学科 第2学年)
【ベストナイン】
投手:前田拓哉(社会学科 第2学年)
二塁手:市野拓海(社会学科 第3学年)
外野手:石本達哉(国際文化学科 第3学年)
山中翼(社会学科 第2学年)
寺島尚兼(真宗学科 第4学年)

サッカー部

●2017年度 第95回関西学生サッカーリーグ(前期)
3部 Aブロック 5位

スキー競技部

●第87回 全関西学生スキー選手権大会
【個人】男子2部大回転競技 3位
【個人】男子2部回転競技 3位
佐々木健(真宗学科 第2学年)

ソフトテニス部

●平成29年度 関西学生ソフトテニス春季リーグ戦
男子 6部 5位
女子 6部 4位

バレーボール部

●2017年度 関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦
女子 7部 Bブロック1位(6部昇格)

バドミントン部

●第67回 関西学生バドミントン選手権大会
男子ダブルスB 3位
鈴木湧生(真宗学科 第3学年)
平塚志門(真宗学科 第3学年)
男子シングルスB 3位
鈴木湧生(真宗学科 第3学年)

●平成29年度 関西学生バドミントン連盟春季リーグ戦

男子 4部 2位(4部昇格)

女子 5部 4位

●平成28年度 京都学生バドミントンクラス別大会

ダブルス 3位
鈴木湧生(真宗学科 第2学年)
平塚志門(真宗学科 第2学年)

※入賞者の学年は、大会時のものです。

2017年7月2日(日)

学生会主催ドッジボール教室を開催

7月2日(日)、大谷大学体育館2階アリーナにおいて「第4回ドッジボール教室」を開催しました。このイベントは、大谷大学の学生会が、小学生を対象とした地域連携活動の一環として、2014年度より実施している企画です。

学生会チーム対日本代表チームのエキシビションマッチに続き、基本講座では、ドッジボール日本代表の本学卒業生、笠松順さんを講師としてお招きし、参加した61名の小学生に、ボールの投げ方や取り方のコツを伝授していただきました。ボールを速く投げる投げ方の実演では、天井まで跳ね上がるボールをみて、歓声が湧き起こりました。その後、小学生同士の試合が行われ、大変な盛り上がりとなりました。



2017年7月15日(土)・16日(日)

祇園祭ごみゼロ大作戦2017に本学の学生らが参加

7月15日(土)・16日(日)に、祇園祭の宵々山、宵山にて実施された「祇園祭ごみゼロ大作戦2017」に大谷大学として参加しました。

この活動では、立ち並ぶ夜店や屋台で使用される食器に、繰り返し使用できるリユース食器を活用し、ごみの削減を目指しています。

今年度の本学からの参加者は、在学生156人、教職員11人の計167人。うち、学生12名がボランティアリーダーとして参加し、当日までの事前準備や当日参加の一般ボランティアスタッフのマネジメントに取り組みました。

過酷な天候のなか本学参加者を含み、2日間でのべ約2000人のボランティアが活動に励みまし

た。

本学は、おもに四条以南、烏丸以西のエリアを担当し、当日のエコステーションでは、リユース食器の回収、ごみの分別のナビゲーションを行ったほか、山鉦の場所や交通機関の案内など、さまざまな問い合わせにも対応しました。

また、山鉦町の保存会の方々とも触れ合うなかで、歴史や伝統を守り、受け継ぐことの大変さについても実感する機会となりました。

活動後、参加して初めての感想の共有や、よりよい活動のための改善点などを話し合いました。この成果を次年度の活動にも引き継いでいきます。



PERSONNEL INFORMATION

人事情報

執行部の交代

【学監・事務局長】

岡本 学

2017年7月1日付

【企画・入試部事務部長】

岡田 治之 (再任)

【総務部事務部長】

中島 弘喜

【学生支援部事務部長】

角山 佳史 (再任)

【教育研究支援部事務部長】

藤谷 徳孝

2017年6月1日付(各通)

依願退職

【学監・事務局長】

寺西 龍水

2017年6月30日付

新規採用

【学監・事務局長】



岡本 学

2017年7月1日付

【地域連携アドバイザー】



小井 香欧里

2017年9月1日付

Event report

2017年7月11日(火)～8月21日(月)
**親鸞エッセイコンテスト
出張講義を実施**

7月11日(火)に、高松学園伊那西高等学校、8月7日(月)に高松学園飯田女子高等学校、8月21日(月)に稚内大谷学園稚内大谷高等学校(いずれも真宗大谷派関係学校)において「親鸞エッセイコンテスト」の出張講義を実施しました。

これは親鸞エッセイコンテストの開催にあたり、高大連携事業の一環として、今年度のコンテストテーマ「生きるってどういうこと?」について考えるきっかけとなる講義です。

講義はそれぞれ、哲学科の村山保史教授、真宗学科の藤原正寿准教授、文学科の中川眞二准教授が担当しました。高校生はメモを取りながら熱心に聞いていました。本コンテストの詳細は大学ホームページをご覧ください。



2017年7月5日(水)
**”人権問題を共に考えよう”
全学学習会を開催**

7月5日(水) 本学講堂にて「2017年度第1回”人権問題を共に考えよう”全学学習会」を開催し、学生、教職員、一般来聴の方々、287名にご参加いただきました。

今回は「LGBT(性的マイノリティ)について知ろう、考えよう」の課題のもと、LGBT政策情報センター代表理事の尾辻かな子先生にご講演いただきました。LGBT当事者という立場から、「性」への先入観、性的マイノリティの多様性、先入観やステレオタイプによって当事者が差別されてしまう危険性などについてお話されました。

参加者のアンケートには「LGBTだけでなく、少数派の人たちにもっと寄りそえたらいいなと感じた」などの声もあり、大変意義深い学習会となりました。



2017年8月5日(土)
**おおたにキッズキャンパス
「夏休みスマイルスクール」を開催**

8月5日(土)、教育・心理学科の岩淵明ゼミ、市川郁子ゼミ、小川健一ゼミ、井川利尾ゼミ、田中潤一ゼミ(第3・4学年)と第1・2学年有志62名が企画した「おおたにキッズキャンパス」を開催し、地域の園児から小学6年生の子どもたち140名とその保護者の方々に参加いただきました。

今回のおおたにキッズキャンパスは、昨年度に引き続き「夏休みスマイルスクール」として、「わくわく染め物講座」「演奏会と楽器体験」「割りばしと牛乳パックで動くおもちゃをつくろう」「ペンハムのこま



をつくろう」「紙皿ひこうき・段ボールコマ・紙コッププラネタリウム作り」「総合わせゲーム」「クイズにこたえてスーパーボールすくい」「プレイランド」など、さまざまな年齢でも楽しめる内容を企画し、4・5号館はたくさんの方々の笑顔であふれかえっていました。

参加した保護者の方からは、「子どもが小さいので心配していましたが、楽しめる企画がたくさんあり、喜んでいました」「学生さんたちが優しく手伝ってくれ、少し難しい工作でも楽しめました」などの感想をいただきました。



紫明祭2017

多くの笑顔や思い出が生まれる紫明祭。今年も最高の思い出をつくろう！

今年度のテーマは

谷大のREAL 共につくろう我らの祭り！

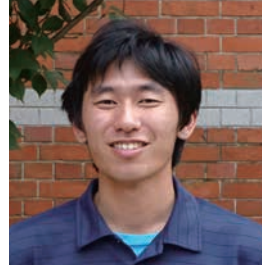
今年も11月10日（金）から3日間、大谷大学学園祭「紫明祭」を行います。

2017年度の紫明祭のテーマは「谷大のREAL 共につくろう我らの祭り！」です。

テーマは今年度も大谷大学の学生からの募集により、決定させていただきました。今年度の学園祭は、「互いに存在する」という意味を込めています。今年度の学園祭は、実行委員会や出展団体だけではなく、全学生、教職員、地域の方々などの「協力があってこそ成功する」という考えのもとで運営します。学内の方々だけでなく、地域の方々にも楽しんでいただき、すべての人々と共に一つの大きな祭り「紫明祭」を創ることができるよう、さまざまな企画を準備したいと思っています。

今年度も「紫明祭」を盛り上げられるように実行委員会一同は今まで以上に頑張りますので、ぜひこの秋の紫明祭に一番の思い出を作りに来ててください。

イベント等の詳細については、今年度は大谷大学学園祭実行委員会の公式「Twitter」Facebookにてお知らせします。



学園祭実行委員会委員長
教育・心理学科 第2学年

中西 俊颯



EVENT SCHEDULE

イベント スケジュール

※ イベントのタイトル・内容及び時間は予定のため、多少変更する場合があります。

Twitter アカウント @shimeisai
Facebook @otani.shimeisai

11

10 金

16:30
▼
18:35

前夜祭

さいしよくまんめん
「祭色満面」

紫明祭を盛り上げる前哨戦として、ジャンケン大会などを企画！

11

11 土

13:15
▼
16:30

音楽イベント

おんこちしん
「音呼知心～心躍る音楽を～」

今年度も学内団体による音楽パフォーマンスを開催。どんな音楽パフォーマンスを披露してくれるのか？

17:00
▼
18:00

プロタレントイベント

タレントによるトークショーを実施予定。今年度の出演者はいったい誰だ？

詳細はTwitterまたはFacebookでご確認ください。

11

12 日

15:00
▼
16:00

プロコンサートイベント

ずい
「ホネの髓まで楽しじゃいな祭」

今年はなんとプロ企画がもう一つ、いったい誰が来るのか？詳細はTwitterまたはFacebookでご確認ください。

17:15
▼
19:00

後夜祭

ここ
「みよ、谷大のすべて此処にあり」

2017年度紫明祭を締めくくる最後の企画。学内団体によるパフォーマンス、展示・模擬店の表彰や抽選会、そして最後に思い出ビデオの上映を予定。



ライフ Life

大垣書店

KYOTO
since 1942

空いた時間を楽しく過ごそう！

今回は、大谷大学のすぐ近くにある、大垣書店本店4階「ギャラリー北大路」をご紹介します。

ギャラリー担当の大崎さんと高田さんにインタビューしました。クラブやサークルで展覧会などの開催を考えている方は、ぜひ活用してみてくださいね！

地域の皆さんの文化活動に役立ててもらおう場



大垣書店
大崎 智子さん

大垣書店
高田 恭行さん

自分たちの手で空間をつくる

「ギャラリー北大路」は2015年7月にオープンしました。事務所だった所を、地域の文化活動に役立てるためにギャラリーとして開放したそうです。スペースの広さは約82平方メートル。使用料金は、右表のとおりです。学生は少し安く使用できます！ギャラリーの机やカウンター、棚などは段ボールを重ねて作られているため、非常に軽く、会場のレイアウトを簡単に変更できます。また、可動式のLEDスポットライトやラジカセ、展示用のラックなど、無料で借りられる備品も多くあります。



ボール紙で作られた
オリジナルのインテリア
スゴイ…。



ギャラリーだけじゃない！

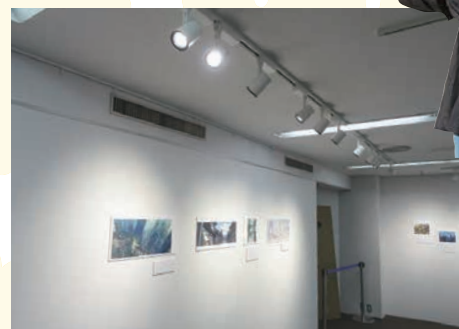
「ギャラリー北大路」の活用方法

「ギャラリー北大路」の活用方法は絵画・工芸・美術品の展示ではありません。ギャラリーという枠組みに捕らわれず、人形劇や本の作者によるサイン会、トークショーなど、あらゆる事に活用されています。

また、打ち合わせを行う会議室として利用することも可能です。誰でも気軽に行くことができ、使用することができる…無限の使い道がある場所。それが「ギャラリー北大路」なのです。

料金表		ギャラリー	貸しスペース
期 間		7日間単位	1日単位
料 金 (税抜)	一 般	50,000円	8,000円
	紫明学区・学生	45,000円	7,200円

丁寧に相談に
のってもらえます



谷大ライフの記事をWebで掲載！！



Webサイト キタキタ！

このウェブサイトは、北大路周辺で開催される行事やおすすめのお店などを紹介するページで、2017年8月に開設しました。私たちが制作、放送しているラジオ「大谷大学HAPPY HOUR！」で行ったトークの要約を掲載しています。「谷大ライフ」の記事も紹介していますので、ぜひご覧ください。

<URL> <http://kitakita.otani.ac.jp/>





私たちは、社会学科の赤澤ゼミでラジオ番組の制作、放送などの活動をしている2・3年生4人組です！

大学から歩いてすぐの、あらゆる事に活用できるギャラリーをご紹介します！

写真左より

井上 健・吉田 寛汰・西川 立勇人・坂元 みゆき

谷大
Tanidai



赤澤 清孝 先生



「ギャラリー北大路」を企画・運営する やりがいとこれから

企画・運営するなかで上手くいかない時もあるけれど、どうすれば上手くいくのかを考え、わからないことに挑戦しつづけることで、いまでは何度もギャラリーに足を運ぶ常連さんもみられるようになったそうです。大崎さんと高田さんは「もっとたくさんの人に使ってもらいたい、観てもらいたい」と語っておられました。本屋のなかにある「ギャラリー北大路」の可能性を広げていくことが今後の目標であり、やりがいだそうです。

これからもどんどん新しいイベントが開催されますので、ぜひお立ち寄りください！また、貸しスペースでもあるので、自分たちならではの方法で、利用してみたいはかがでしょうか。



FM87.0 RADIO MIX KYOTO 大谷大学Happy Hour !

私たちが制作、放送をしているラジオ番組「大谷大学Happy Hour !」のスタジオは「ギャラリー北大路」のおとなりにあります。毎週火曜日19時からの生放送です。地域の方や大谷大学の先生をゲストとしてお招きし、地域の情報と大谷大学の情報を楽しく伝えています。皆さんもぜひ一度聴いてみてくださいね！応援よろしくお願いします！



WebページやSNSから、放送済みの番組音声聴けます。

FM87.0 RADIO MIX KYOTO 大谷大学Happy Hour !

<http://radiomix.kyoto/programs/rmk-thu/>

Twitter 大谷大学Happy Hour !

@fm87ohappy

Facebook 大谷大学Happy Hour !

@fm87ohappy



今回ご紹介したお店の情報はコチラ！



店名 ギャラリー北大路
住所 京都市北区小山上総町14 大垣書店4階
交通 京都市営地下鉄烏丸線北大路駅 6番出口
から徒歩0分
使用時間 10:00~21:00
館長 大垣 全央
問合せ 大垣書店 総務部 (月~金10:00~17:00)
TEL : 075-468-1800
gallery-kitaoji@books-ogaki.co.jp



2016年度 就職決定状況

2016年度文学部卒業生の就職率（就職者÷就職希望者）は、95・0%・短期大学部は100%と、高い就職率を維持することができました。

（詳細は左ページ参照）

この結果は、企業の高い採用意欲が維持されたこととありますが、何よりも学生一人ひとりが最後まであきらめずに活動したことによるものです。

2016年度は、経団連の「採用選考に関する指針」の内、採用選考の開始日が8月1日から6月1日に変更され行われました。採用広報活動の開始日（卒業前年度の3月1日）から採用選考開始日までの期間が2カ月短縮されたことにより、就職活動期間の短期化、集中化が予想されスタートしました。早い時期から業界研究、企業研究を行い志望業界、企業の絞り込みができていた学生は3月1日以降の動き出しも早く、結果、早い段階で内定を得ることができました。

一方、準備が不十分な場合は、就活が長期化する結果となるなど、本学に限らず準備の差による学生の二極化が2016年度の特徴と言えます。

現在の就職環境

2017年度の採用スケジュールは、昨年度から変更なく、3月1日の広報開始から一斉にスタートしました。新聞紙上では、「短期集中」「売り手市場」以外に「休日・休暇」「福利厚生」

など「働き方」が注目されています。

また、6月1日の選考開始以降、早期に内定を得る学生は昨年度よりも多く、その内、内定を得たことで就活を終了する学生が多いのも今年度の特徴と言えます。

6月末で、3月から始まった就活の第1クールは収束し、7月以降は、第1クールで募集定員を満たせなかった企業、中堅中小企業などが新たに採用活動を始める第2クールに移り、秋以降の企業の採用活動は第3クールへ継続しています。

企業の採用活動の状況に合わせて、キャリアセンターでは個々の学生に応じた相談・情報提供などの支援を継続して行っています。

今後の就職支援

キャリアセンターでは、就職に限らず、個々の学生が納得のいく進路決定ができるよう、さまざまな支援を行っています。

特に、卒業前年度の就職希望の学生に対しては、前述した就職環境を踏まえ、個々の学生が就職活動を自身の問題として捉え主体的に行動することが重要と考え、自己理解、業界・企業研究、エントリー・採用試験、内定の就職活動プロセスに則り各種支援を行っています。これまでに自己発見診断（自己理解）や筆記試験対策、履歴書作成や業界研究に関する就職ガイダンスを実施しています。

また、10月以降は、企業研究、職種

研究、ビジネスマナー、面接などに関する支援企画を予定しています。特に、この時期に必要なのは、現在実施している履歴書（学生時代に力を注いだこと、私の特徴）作成のための個別面談です。履歴書は、採用選考の際の第一関門となる重要な提出書類ですので、早期に取り組む必要があります。また、就活直前ガイダンス、面接実践講座、業界・企業研究講座、就活強化合宿などの支援企画を実施します。

これらの支援企画については、掲示、メール、ダイレクトメールでお知らせします。積極的に参加してください。なお、教員、公務員をめざす学生、進学希望の学生は、別途支援していますので、相談してください。

2019年3月卒業 修了予定者対象

【今後の就職支援ガイダンス、講座等】

- ・履歴書作成のための個別面談〔10～1月〕
- ・大谷キャリア塾〔10～2月〕
- ・第4回就職ガイダンス（業界研究）〔10月〕
- ・第5回就職ガイダンス（職種研究）〔10月〕
- ・第6回就職ガイダンス（企業研究）〔11月〕
- ・面接対策ガイダンス〔11月〕
- ・就職活動報告会〔11月〕
- ・筆記試験対策講座〔11月〕
- ・ビジネスマナー講座〔12月〕
- ・就活強化合宿〔2月〕
- ・就活直前ガイダンス〔2月〕
- ・面接対策フォローガイダンス〔3月〕
- ・学内合同企業説明会〔3月〕
- ・就職ガイダンス〔3月〕

文学部第1学年、第2学年の就職を希望するみなさんへ

就職活動と言っても実感が湧かないかもしれませんが、日々の学生生活で得た経験（キャリア）が卒業後の進路に大きく関わってきます。

社会人として求められる力として、「基礎学力」「コミュニケーション力」「調整性」が挙げられます。これらは力に容易に身につくものではありません。日頃から学業だけでなく、クラブ活動、ボランティア、アルバイトなどの課外活動や、さまざまな人々と交流することにより養うことができるものです。また、社会を知るうえで、インターシップも有効な方法です。

「今しかできないこと」「本気で取り組めるもの」を見つけるためにも、さまざまなことに挑戦し幅広い経験を積みましよう。



2016(平成28)年度卒業生進路決定状況

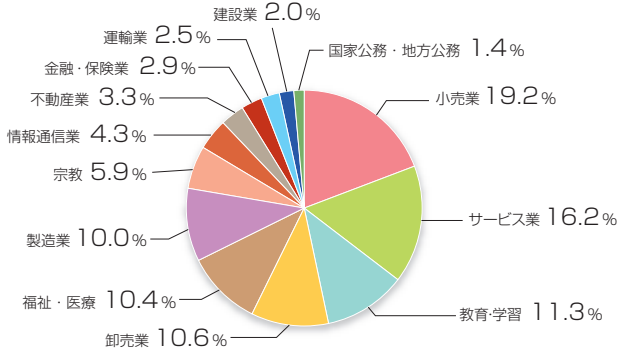
文学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生 科目等 履修生	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外
	就職者	就職活動 継続	大学院	大学短大 専修学校			
686	511	27	23	12	12	49	52

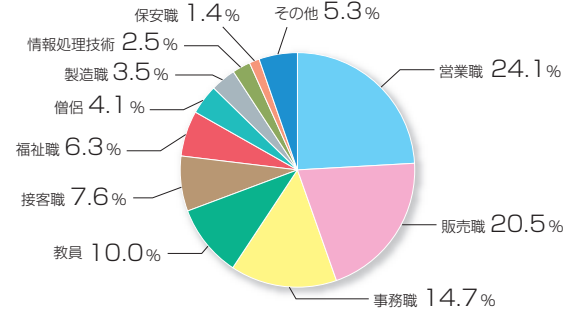
就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
95.0%	79.6%

※進路決定者=就職者+進学者

●業種別進路決定状況



●職種別進路決定状況



●2016年度就職先(抜粋)

業種	職種	就職先
建設業	株式会社アキュラホーム	株式会社京都ホテル
	タマホーム株式会社	近畿測量株式会社
	東建コーポレーション株式会社	株式会社近畿 都ホテルズウェスティン都ホテル京都
	平安建設工業株式会社	小西共和ホールディング株式会社
製造業	エンゼルブレインカード製造株式会社	株式会社重光
	株式会社グラフィック	株式会社ジャパンクリエイト
	コタ株式会社	信州うたえた農業協同組合 (JA信州うたえ)
	株式会社小堀	株式会社トリドール
情報通信業	株式会社サイ引越センター	株式会社トリドール
	株式会社サカイ引越センター	新居浜市農業協同組合
	株式会社菅原伊織	日本郵便株式会社
	株式会社シャトレーゼ	
卸売業	株式会社聖園ハツ橋本店	
	大和冷蔵工業株式会社	
	株式会社鶴屋吉信	
	株式会社井上清本舗	
運輸業	エムケイ株式会社	
	岡山県貨物運送株式会社	
	株式会社サカイ引越センター	
	大正海運株式会社	
小売業	株式会社スズキ自販運賃	
	株式会社スズキ自販運賃	
	株式会社スポーツ館ミツハン	
	株式会社たまゆら	
金融・保険業	株式会社丸善	
	株式会社メガネトップ	
	株式会社ローソン	
	株式会社ニッセイ生命	
教育・学習	大谷大学	
	大谷大学短期大学部	
	京都府教育委員会	
	京都市教育委員会	
福祉・医療	社会福祉法人七野会	
	社会福祉法人ヘルスケアシステム	
	SOMPOケアネクスト株式会社	
	京都大原記念病院グループ	
宗教	真宗大谷派宗務所	
	真宗大谷派尾島別院	
	真宗大谷派宗務所	
	真宗大谷派尾島別院	
国家公務・地方公務	防衛省海上自衛隊	
	防衛省陸上自衛隊	
	京都府警察本部	
	甲賀市役所	
サービス業	アーバンホテルシステム株式会社	
	AL S O K 京滋株式会社	
	あわじ島農業協同組合 (JAあわじ島)	
	今津市農業協同組合	

短期大学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生 科目等 履修生	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外
	就職者	就職活動 継続	大学院 編入	短大 専修学校			
93	80	0	6	0	0	6	1

就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
100.0%	92.5%

※進路決定者=就職者+進学者

●2016年度就職先(抜粋)

保育所	幼稚園	認定こども園	施設	小売業	サービス
あひるが丘保育園 安永保育園 稲荷保育園 WECLおん うちけし保育園 おいけあした保育園 大津市(保育士) 甲南のぞみ保育園 西念寺保育園 朱七保育所	せいしん幼児園 第2長尾保育園 どろんこ会 のぞみ保育園 羽束師保育園 松茂ひまわり保育園 まめのき保育園 妙秀保育園 洛和会東桂坂保育園	明幼稚園 うぐいす第二幼稚園 安井幼稚園 京都カトリック信愛幼稚園 華津カトリック幼稚園 向陽幼稚園 桜ヶ丘幼稚園 昭和幼稚園 長浜市(幼稚園教諭) 兼愛幼稚園 ひまわり幼稚園	阿武山たつ子こども園 茨木市(保育教諭) こども園ゆりかご 湖南市(保育教諭) さくらがおかこども園 たかがみこども園 高島市(保育教諭) たんぼほ学園 長浜市(保育教諭) 本福寺こども園 三聖寺こども園 大和郡山市(保育教諭)	ヴェインテ 和歌学園 児童館 京都社会福祉協会 松光会	株式会社ティエスプラン 株式会社ユナイテッドアローズ 株式会社オリエンタルランド 株式会社カーブスジャパン ヒューマンステージ株式会社

※主な就職先一覧、進学先は、2018キャンパスライフ p.87~89をご覧ください。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/03>

Our teacher 私たちの先生

あたたかい空気感のなかで、社会学を通じて大切なことを教えてくれる気さくな先生。



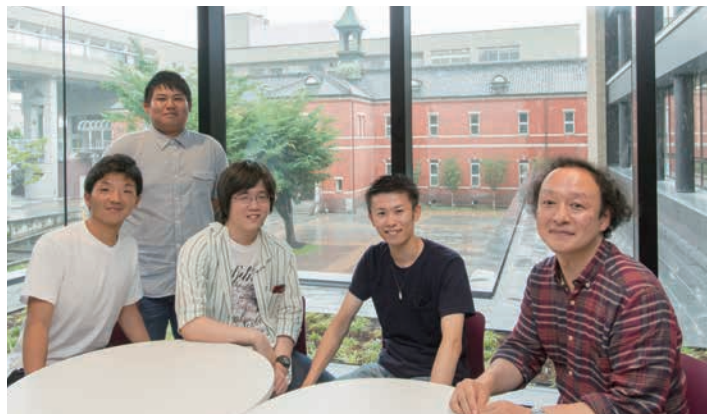
社会学科教授
野村 明宏

1970年神戸市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学大学院21世紀COEプログラム研究員、四国学院大学社会学部准教授を経て、2015年大谷大学文学部准教授、2017年同大学教授、現在に至る。

わたしたちの社会生活における人間関係のあり方や、社会の仕組みそのものを探る学問が社会学です。研究の対象は、家族や友人関係から国家やグローバル化まで幅広く、社会秩序の形成や混乱、変化のメカニズムを考察し解明していきます。

野村先生のゼミでは、現代文化と現代社会について自分たちの関心があるテーマや内容を取り上げ、今の自分たちの視点を大切にしながら掘り下げていきます。ゼミ生全員が互いのテーマについてディスカッションすることを重視しています。

研究テーマは、多岐にわたるため、今まで学業と無関係だと考えていたさまざまなジャンルにも興味関心を広げることが出来ます。ほかのゼミ生とテ



紹介してくれた社会学科・野村ゼミ（第4学年）

左から小林 直矢さん、木津 剛さん、池田 栄哉さん、時久 幸さん

ーマが重複することは少ないものの、共有する社会学的思考をとおして、議論を深めていけるのが、このゼミの魅力です。

先生のつくりだすあたたかい空気感のおかげで、社会学を学ぶうえで大切なもののひとつであるディスカッションを普段の会話のように肩肘張らずにできます。自由に発想を交わしながら、新たな気づきや着想を得ることもしばしばあります。

わたしたち学生がテーマにしたいことを尊重し、常に学生と一緒に考え、社会で生きていくのに大切なことを楽しみながら教えてくれる、良い意味で威圧感や堅苦しさのないフレンドリーな先生です。

先生から学生たちへのメッセージ

ゼミや講義で、懇切丁寧に言葉を尽くしているつもりでも、教えた内容が学生にイマイチ伝わっていないことは、残念ながらよくあります。とはいえ、的確に内容が理解されれば、目的が果たされるわけでもありません。教員の言葉は、受け手側のコンテクストに組み込まれて、思いもよらぬ斬新な意味が与えられ、学生自身を触発することがあります。あなたに尊敬する師がいれば、その人の言葉は何気ない一言であっても意義深く聞こえ、反芻するうちに多様な意味を響かせます。教育の目的や効果も、本来はそのあたりにあるのかもしれませんが。

昨今の消費社会のひろがりや、あらゆるものをサービスの観点から捉えがちですが、教育が等価交換のサービスではないのは、以上の点からも理解できるでしょう。意外かもしれませんが、教える側も学ぶ側も、何を教えることになるのか/学ぶことになるのかは、事前にはよくわからないのです。ここには「教えるー学ぶ」というコミュニケーションの難しさと不思議さと魅力が隠されているように思います。



2016年度決算

2016年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2017年5月19日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、当該年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金等が含まれます。

資金支出は、教職員の人件費や、学生の教育研究および学生生活に関わる教育研究経費の他に、学生募集・広報等の管理経費と、施設や設備関係支出があります。

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的な収支である教育活動収支、教育活動外収支と、臨時的な収支である特別

● 2016年度資金収支計算書 (2016年4月1日～2017年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,492,367,750	人件費支出	2,610,740,496
手数料収入	85,124,881	教育研究経費支出	1,007,161,716
寄付金収入	258,014,494	管理経費支出	536,636,671
補助金収入	515,381,801	借入金等利息支出	9,332,400
国庫補助金収入	511,530,768	分担金等支出	13,050,000
地方公共団体補助金収入	3,851,033	借入金等返済支出	211,100,000
付随事業・収益事業収入	28,327,730	施設関係支出	2,279,479,602
受取利息・配当金収入	106,745,278	設備関係支出	376,186,630
雑収入	105,253,105	資産運用支出	599,247,405
前受金収入	707,121,490	その他の支出	99,658,413
その他の収入	2,956,090,271		
資金収入調整勘定	△ 729,160,776	資金支出調整勘定	△ 53,644,921
前年度繰越支払資金	4,227,609,075	翌年度繰越支払資金	4,063,926,687
収入の部合計	11,752,875,099	支出の部合計	11,752,875,099

● 2016年度事業活動収支計算書 (2016年4月1日～2017年3月31日) (単位 円)

	科目	金額
教育活動収支	事業活動収入の部	
	学生生徒等納付金	3,492,367,750
	手数料	85,124,881
	寄付金	158,393,475
	経常費等補助金	514,526,801
	付随事業収入	28,327,730
	雑収入	122,114,755
	教育活動収入計	4,400,855,392
	事業活動支出の部	
	人件費	2,603,936,149
教育研究経費	1,644,539,360	
管理経費	566,690,346	
徴収不能額等	629,000	
教育活動支出計	4,815,794,855	
	教育活動収支差額	△ 414,939,463
教育活動外収支	事業活動収入の部	
	受取利息・配当金	103,678,015
	教育活動外収入計	103,678,015
	事業活動支出の部	
借入金等利息	9,332,400	
教育活動外支出計	9,332,400	
	教育活動外収支差額	94,345,615
	経常収支差額	△ 320,593,848
特別収支	事業活動収入の部	
	その他の特別収入	106,113,028
	特別収入計	106,113,028
	事業活動支出の部	
	分担金等	13,050,000
	資産処分差額	86,267,282
その他の特別支出	32,685,000	
特別支出計	132,002,282	
	特別収支差額	△ 25,889,254
	基本金組入前当年度収支差額	△ 346,483,102
	基本金組入額合計	△ 128,738,003
	当年度収支差額	△ 475,221,105
	前年度繰越収支差額	2,433,713,007
	基本金取崩額	37,116,090
	翌年度繰越収支差額	1,995,607,992
(参考)	事業活動収入計	4,610,646,435
	事業活動支出計	4,957,129,537

貸借対照表

収支に区分し、それぞれに対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を示すものです。

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。なお、本学園全体の貸借対照表はホームページで公表しています。

2017年度予算

2017年度予算は、2017年3月22日開催の学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において当初予算が承認され、本年度の在学生数が確定した後、7月6日に開催された理事会・評議員会において補正予算が承認されました。

2017年度は、開設4年目を迎えた学習支援室のサポートを強化する費用や、「英語プレイスメント(クラス分け)テスト」を実施する費用等を計上しています。2015年度に開設した地域連携室「コミュニティラボ」においては、2016年度に京都市の「学まち連携大学促進事

業」に採択され、補助金も受けながら、さらに積極的な地域連携活動を展開していきます。また、キャリア支援では、新講座「大谷キャリア塾」を開設し、就職活動の準備、グループディスカッション、面接等の採用試験対策を徹底して行います。キャンパス内の整備事業では、2018年4月のグラウンドオープンに向けて慶開館の北エリアの建築を進めています。2017年度も本学の教育研究の一層の充実を図るために予算を執行してまいります。

保護者懇談会開催について

「保護者懇談会」とは、教育後援会役員ならびに大谷大学長ほか、学生支援部をはじめとする事務部門の職員が出席し、大学の現状についてご報告する会です。当日は成績表をお配りし個別相談にも応じます。各地区で開催する保護者懇談会は、個別相談終了後に懇親会も開催いたします。

信越地区保護者懇談会・大谷大学フェア(信越)開催報告

2017年7月9日(日)に長野市、10日(月)に新潟市において、信越地区在住の保護者を対象とした「信越地区保護者懇談会」を開催いたしました。

懇談会では、学長より大学の新しいメッセージや大学の理念、教育目標について説明し、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、奨学金制度など学生生活のサポート体制について、また、近年の就職状況の傾向などの説明を行い、保護者とも協力して支援していくことが呼びかけられました。

その後の相談会では、学生個別のデータを基に、卒業単位の修得状況や、学生生活上の不安点、長野や新潟でのUターン就職についてなど、学生支援部職員が一人ひとりの相談に応じました。

懇談会に引き続き催された懇親会では、保護者相互の親睦を深めるなど、和やかなひと時を過ごしていただくことができました。

◆中国・四国地区保護者懇談会 開催日程

2017年 12月2日(土)	広島国際会議場 (広島県広島市)
-------------------	---------------------

該当地区の皆様には10月下旬にご案内状をお送りいたします。

◆100円朝定食(定期試験応援フェア)実施

7月の前期定期試験期間中、教育後援会・同窓会・大谷大学からの補助により、朝定食が100円(ごはん・味噌汁・スープおかわり自由)で提供されました。多くの学生に、朝ごはんをしっかりと食べて定期試験に臨んでもらえました。後期定期試験期間中(1月)も実施予定です。学生のみなさんは是非ご利用ください!

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。



大谷大学フェア(信越)
公開講演会の様子



信越地区保護者懇談会
個別相談の様子

新潟会場では「大谷大学フェア(信越)」と銘打ち、保護者懇談会と併せて公開講演会を実施し、信越地区の同窓生をはじめ、約50名の方々にご出席いただきました。

地区別保護者懇談会の今後の開催につきましては、左記のとおりです。

◆信越地区保護者懇談会の様子

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金寄付者 (敬称略)

【個人】	
相場 久男 (群馬県)	谷川 修真 (広島県)
浅田 純 (長崎県)	月輪 融 (石川県)
安達 由美子 (大阪府)	土橋 賢治 (大阪府)
板倉 昭二 (京都府)	中原 浩治 (兵庫県)
鶴井 浩 (愛知県)	藤本 浄信 (島根県)
小袋 雅文 (福岡県)	船山 義弘 (山形県)
角田 信季 (福島県)	水野 朋人 (三重県)
川端 章道 (奈良県)	森井 雅士 (兵庫県)
熊野 美喜子 (富山県)	吉川 昌子 (滋賀県)
甲田 譲二 (静岡県)	匿名 28名
佐々木 ひとみ (新潟県)	

【法人・団体】	
(有)石間企画事務所	代表取締役 石間 裕 (東京都)
(公社)大谷保育協会	理事長 朝倉 益光 (京都府)
匿名 5件	

◆件数 55件 ◆寄付金総額 7,810,000円

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。そのため、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、2017年2月1日から2017年6月30日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。

厚く御礼申し上げます。

大谷大学キャンパス総合整備 新教室棟建築資金(募金)について

現在進行中のキャンパス総合整備・新教室棟建築にかかる募金につきましては、別途、募金趣意書を作成しております。お手元に募金趣意書が届きましたらご高覧いただきますようお願いいたします。また、既にこの建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者」一覧とは別に、別途名簿を作成する予定です。何卒よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先

教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内 TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyuu@sec.otani.ac.jp

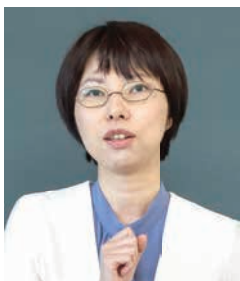
言葉を交わす速度

基本的に遅筆であり、筆不精である。父親からは「お前のメールは電報か」と言われている。そして今現在、昨日友人から久しぶりに届いた、これまた電報のような一行メールへの返信はまだしてこない。かと言って電話も得意ではない。突然かかってくる電話（電話というものは大概突然かかってくる）には「心の準備が間に合わない！」と慌てふためき、自分からかける際にもなぜだか心の準備が間に合わず、自分の名前を名乗りながら嘔んでしまう。

こんな私が学内外の多くの方々と連絡調整をする役割を担うようになってしまったのである。大谷大学では数年前から「文藝塾」という取り組みが動いている。なかでも「文藝塾講義」という授業では、出版の現場で働く方々を外部講師として招聘し、さまざまな立場から学生にお話しいただいている。2017年度お越しいただく外部講師は11名。作家・記者・編集者・コピーライター……と、皆それぞれ第一線で活躍しておられる方々である。この講義における私の役割はキュレーターといったところで、いつどなたに来ていただくかの計画を立て、交渉をし、打

ち合わせをしていく。講義は毎週行われる。交渉も打ち合わせもほとんど進めなければならぬ。心の準備が間に合わないなどと言っている暇はない。

はじめのうちはメール一本書くのにも疲労困憊していたが、多くの方々とやりとりを繰り返すうちに多少は慣れてきたのか、最近ではあまり考え込まずに連絡が取れるようになってきた。そして今更ながらに言葉を交わすことの意味について気づかされたのである。お互いの言葉に反応し合うことで信頼関係を築き、未完成なアイデアでも言葉にして問いかけることで互いに補い合いながら新たなものが作りあげられていく。言葉は人間同士が交わすことによってはじめて命を持つ生き物だということ——講義の裏側で私自身も言葉について学んでいるのだ。



文学科
講師
安藤 香苗
専門分野 / 国文学（近代文学）

時代を照らす仏教のことば

大きな壁に
ぶつかったときには、
大切なことはただ一つ。
壁の前でちやんと
ウロウロしていること。

玄田有史
『希望のつくり方』 岩波新書 200頁

編集後記

今回の巻頭対談は、おおたにキッズキャンパスの活動を取りあげました。子どもと触れ合うことで、初めて見えてきた気づきが多くあるようです。苦手なことも繰り返し返すうちに、周りを見る余裕が生まれ、そこから新たな気づきが見つかることも……。挑戦の場は身のまわりにたくさんありますので、いろいろなことに取り組んでみてください。

（編集担当）